

ブルキナファソ
住民参加による
持続可能な森林管理

技術協力 コモエ県における住民参加型持続
的森林管理計画プロジェクト

人口増加や焼き畑などによる森林減少・砂漠化が北部から南部へと拡大し、食料不足への不安を抱えるブルキナファソ。シアバターやはちみつといった非木材林産物の生産を通じて生計の安定を図りながら、森林を保全していくため、住民参加型の森林管理を支援。



メキシコ
湿地を再生して
エコツーリズムを推進

技術協力 ユカタン半島沿岸湿地保全計画
プロジェクト

巨大な地下水脈が形成され、独特な沿岸湿地を有するユカタン半島では、観光客の増加や自然資源の過剰利用によって湿地の生態系が悪化している。そこで、その改善に向け、マングローブ林の再生やエコツーリズムの推進、廃棄物対策などを支援。



エクアドル
貴重な海洋環境の
保全を住民とともに

技術協力 ガラバゴス諸島海洋環境保全計画
プロジェクト

ダーウィンの進化論を生むきっかけとなり、貴重な生態系が世界自然遺産に指定されるガラバゴス諸島。保護区として管理する一方で、乱獲などにより海洋環境が悪化している。漁業関係者ら住民への環境教育や資源の持続的な管理方法などを支援。



インド
ヒマラヤのふもとで
野生生物を保護

円借款 シッキム州生物多様性保全・
森林管理事業

ヒマラヤ山脈のふもとにあり、生物多様性の破壊が危惧される「ホットスポット」に指定されるシッキム州。野生生物保護区の管理体制の強化のほか、薬草など非木材林産物の加工・販売を通じ、森の恵みに依存する住民の生計向上も支援。



モンゴル
湿原に残る淡水資源の
保全拠点を整備

無償資金協力 淡水資源・自然保護計画

家畜の過放牧や気候の変化などで湿原の乾燥化が進み、豊かな生態系が危機に瀕するモンゴル。地球上でも希少な淡水資源をはじめとした自然環境の保全拠点として、研修・研究施設を整備。国民の自然環境保護への意識向上につながることを期待される。



**生物多様性
ホットスポット**

生物多様性に恵まれているにもかかわらず、その豊かな多様性が危機に瀕している地域。地球上で最も絶滅が危惧されている生物の75%がここに生息する。

JICAの 生物多様性支援MAP

世界各地で報告されている生物多様性の危機。

JICAはさまざまなスキームを活用し、
多様性の保全に向けた支援を展開している。その一部を紹介。

日本
北海道で学ぶ野生動物と
人間の共生

研修 生物多様性保全のための
野生動物問題解決手法

日本で特に生物多様性が豊かな北海道を舞台に、野生動物と人間の共生の在り方を伝える研修。地理情報システムを活用した動物の生態調査や住民参加の重要性のほか、帯広市周辺の国立公園に生息するエゾシカやヒグマの保護管理の実例も学ぶ。



©早稲田宏一

サモア
固有種を守る
国立公園の適切な管理を

技術協力 国立公園・自然保護区の管理能力
向上支援プロジェクト

固有の動植物が多数生息しているサモアでは、農地の拡大などにより、森林が著しく減少している。そこで、その貴重な生態系を保全するため、国立公園や自然保護区の管理計画策定などを通して、管理・運営に必要な職員の能力向上を支援している。



フィリピン
最後の秘境を守り、
貧困拡大の防止を

円借款 北部パラワン持続可能型
環境保全事業

フィリピン最後の秘境、パラワン島北部では、熱帯雨林やサンゴ礁、ジュゴンなど生態系の破壊が進んでいる。無秩序な漁業や違法伐採をなくすため、保護区域の策定や海洋資源の持続的な利用を通じて、資源の枯渇による貧困拡大を防ぐ。



インドネシア
生物学の研究機能を強化

無償資金協力 生物多様性保全センター設立計画
生物学研究センターの標本管理体制
及び生物多様性保全のための研究機
能向上プロジェクト

世界第三位の熱帯林面積を有するインドネシアに、植物学・微生物学の研究機能を備えた「生物学研究センター」を建設。また、400万点に上る動植物の標本を適切に管理し、研究に有効活用するための体制づくりも支援。生物多様性保全の研究拠点へと成長している。



撮影：今村健志朗

ウガンダ
希少動物の飼育方法と
繁殖技術を伝える

草の根技術協力 ウガンダ野生生物保全事業

希少動物などの生息環境が悪化するウガンダで、野生動物の飼育方法や繁殖技術などを指導、環境教育も促進している。実施主体は、「よこはま動物園」、「野毛山動物園」、「金沢動物園」など、それぞれ魅力的な特色を持つ動物園運営に取り組む横浜市。



©よこはま動物園

ペルー
貧しい山岳地域で
環境保全と生活向上

円借款 山岳地域・貧困緩和環境保全事業
I～III

急峻な傾斜地での耕地拡大によって、土壌の劣化などが進む山岳地域では、住民の半数以上が貧困に苦しんでいる。そこで、環境保全と生計向上の両面で人々を支えるため、農業インフラの整備や植林を通じた土壌回復・森林保全を行っている。

